

森・里・街・川のつながりを結び、京都の未来を紡ぐ 生物多様性に関する流域連携の キックオフ・フォーラム

多くの生きものが息づく自然の恵みに支えられている私たちの暮らし。
しかし、昨今の地球温暖化の進行など様々な要因によって、自然に異変が生じています。
京都の自然の恵みを未来につないでいくために、わたしたちに出来ることを考えてみませんか？

参加
無料

3.9 土曜日の 13:00-17:15

会場 イオンモール京都桂川 3階イオンホール/YouTubeによるオンライン配信

講演会 13:00～

定員 会場100名/オンライン制限なし

基調講演

「私たち生きものの中の私」として生きる
—生命誌の視点—



地球は多様な生きものが暮らす賑やかな星です。多様な生きものたちの、歴史と関係に目を向けながら、「ほんとうの豊かさ」と「ほんとうの幸せ」を実感する生き方を求めて生きたいと思います。

中村 桂子氏 JT生命誌研究館 名誉館長

話題提供

新しい里山里海を共に創る
～森里海連環学の実践～



京都大学フィールド研が提唱する「森里海連環学」や、イオン環境財団と進めている超学際的プロジェクト「新しい里山・里海共創プロジェクト」の活動事例を報告します。

館野 隆之輔氏 京都大学フィールド科学教育研究センター センター長

パネルディスカッション



「森・里・街・川」のつながりの重要性について、基調講演者、話題提供者、事例紹介者との意見交換を行います。

進行 湯本 貴和氏
きょうと生物多様性センター
センター長 / 京都大学名誉教授

事例紹介



森

鴨川源流雲ヶ畑に息づく希少植物と山里文化をみなさんとともに楽しみたい/季節の味や香りを運ぶ伝統食や製品の魅力を市街地の皆さんに届ける活動をすすみたい
森の恵みを街に届け、つながりを広げていくための活動について紹介します。

西野 護氏 雲ヶ畑・足谷 人と自然の会
塚本 直治氏 雲ヶ畑在住者



里

都市近郊で行う環境配慮型農業

農業分野での資源循環&カーボンゼロを目指した実践や、田んぼオーナー制など、参加型の取組について紹介します。

中嶋 直己氏 株式会社中嶋農園 代表取締役
戸倉 明子氏 NPO法人 木野環境 調査研究部



街

名勝涉成園ならびに名勝無鄰菴庭園での
生物多様性に繋がる庭園管理

生物多様性保全に配慮した文化財庭園の育成管理や取組について紹介します。

後藤 香奈氏 植彌加藤造園株式会社 自然文化サービス部



川

アユと魚道と滞標

天然アユにとっての「壁問題」、アユが増えるには、魚道と滞標が機能する必要があります。15年間の活動から見えてきたことを紹介します。

中筋 祐司氏 京の川の恵みを活かす会 副代表

交流会 16:15～ 会場 講演会と同会場、オンライン配信はありません

お申し込みは
こちらから

※交流会のみの参加は申込不要



事例紹介者等のポスターを展示するとともに、生物多様性保全に取り組まれている方々や、参加者同士が交流していただけます。



主催：きょうと生物多様性センター運営協議会 共催：京都府、京都市

お問い合わせ：きょうと生物多様性センター Tel：075-354-5275 Mail: contact@kyotobdc.jp